

自由国民

自由国民 第一六九号
昭和卅七年十一月一日発行
昭和卅五年十一月八日国鉄
特別採承認雑誌九二九号

特別号

11

自由国民社
発行

現代用語 の基礎知識

時代の鼓動を反射する新語年鑑

1963年版

各界の権威

六十二氏

分担執筆

時局用語

横田喜三郎 中村哲 辻清明 鷓鴣信成 高木惣吉 高島善哉 長洲一二 山田秀雄 鈴木武雄 山口茂 近藤康男

文化用語

上坂西三 山城章 野田全治 大河内一男 宮川実

高桑純夫 岸本英夫 宮原誠一 戸川行男 林健太郎 西岡虎之助 辻村太郎 江上波夫 本多顕彰 今泉篤男 吉田秀和 山田肇

科学用語

辻二郎 茅誠司 藤岡由夫 朝比奈貞一 湯浅明

高橋吉定 杉靖三郎 宮木高明 萩原雄祐 竹内端夫 和達清夫 日常用語 大宅壮一 城戸又一 森崎実 春日由三 津村秀夫

織田幹雄 神田順治 服部良一 吉川義雄 清家清 氏家寿子 平井信義 黒田初子 マダムマサコ 山野愛子 渡辺義雄 木村義雄 高川格 桑田忠親 福田蘭童 野村正七 吉田健一 池田雄蔵

BERLIN

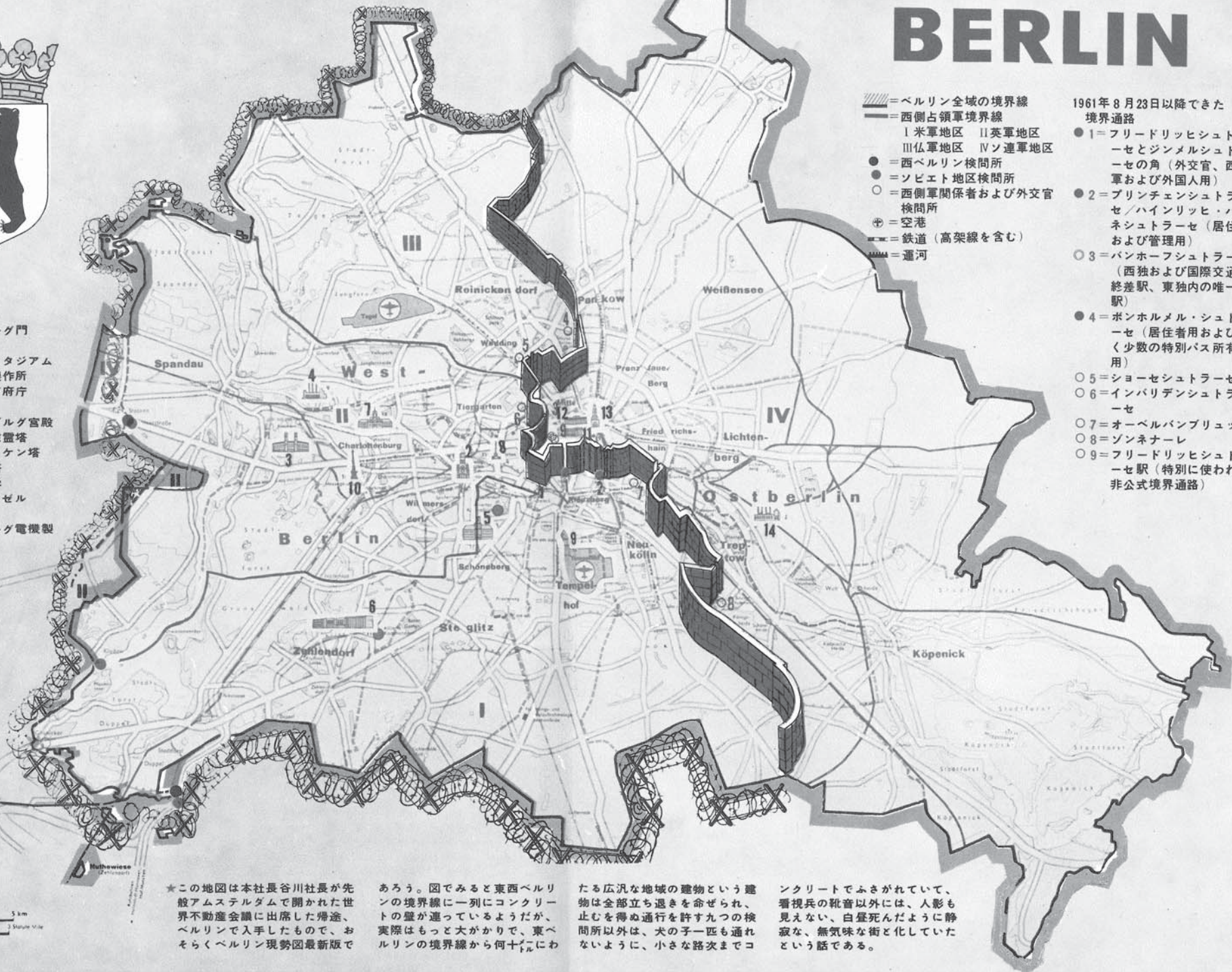


- 1=ブランデンブルグ門
- 2=ゲデッヘ教会
- 3=オリンピック・スタジアム
- 4=ロイター電機製作所
- 5=シェーンベルグ府庁
- 6=フリー大学
- 7=シャロテンブルグ宮殿
- 8=ジーゲゾーレ慰霊塔
- 9=ルフトブルックン塔
- 10=フンクトルム塔
- 11=フンボルト大学
- 12=ムゼウム・インゼル
- 13=マリエン教会
- 14=クリンゲンベルグ電機製作所

- =ベルリン全域の境界線
- =西側占領軍境界線
- I 米軍地区 II 英軍地区
- III 仏軍地区 IV ソ連軍地区
- =西ベルリン検問所
- =ソビエト地区検問所
- =西側軍関係者および外交官検問所
- ⊕=空港
- +—=鉄道(高架線を含む)
- =運河

1961年8月23日以降できた境界通路

- 1=フリードリッヒシュトラッセとジンメルシュトラッセの角(外交官、西欧軍および外国人用)
- 2=プリンチェンシュトラッセ/ハインリッヒ・ハイネシュトラッセ(居住者および管理用)
- 3=バンホーフシュトラッセ(西独および国際交通の終差駅、東独内の唯一の駅)
- 4=ボンホルメル・シュトラッセ(居住者用およびごく少数の特別バス所有者用)
- 5=ショーセシュトラッセ
- 6=インバリデンシュトラッセ
- 7=オーベルパンブリュッケ
- 8=ゾンネナール
- 9=フリードリッヒシュトラッセ駅(特別に使われる非公式境界通路)

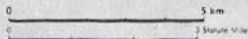


★この地図は本社長谷川社長が先般アムステルダムで開かれた世界不動産会議に出席した帰途、ベルリンで入手したもので、おそらくベルリン現勢図最新版で

あろう。図で見ると東西ベルリンの境界線に一列にコンクリートの壁が連っているようだが、実際はもっと大がかりで、東ベルリンの境界線から何十メートルにわたる

広汎な地域の建物という建物は全部立ち退きを命ぜられ、止むを得ぬ通行を許す九つの検問所以外は、犬の子一匹も通れないように、小さな路次までコ

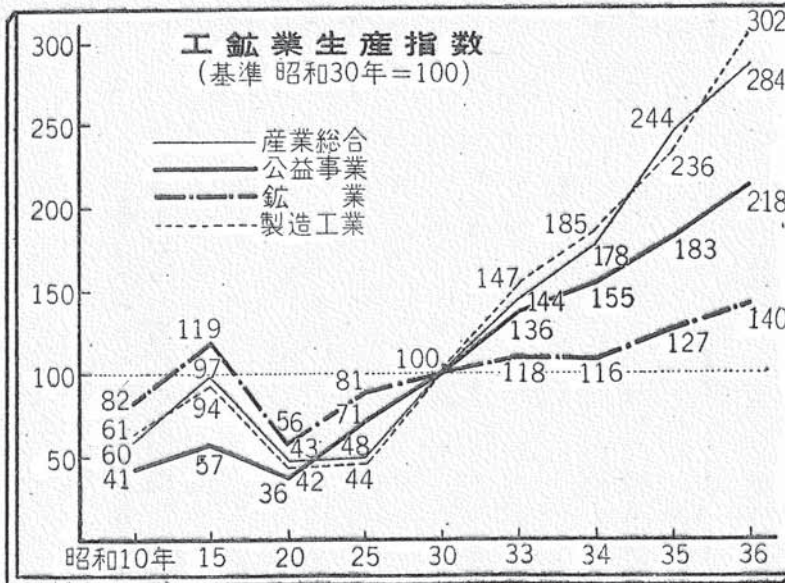
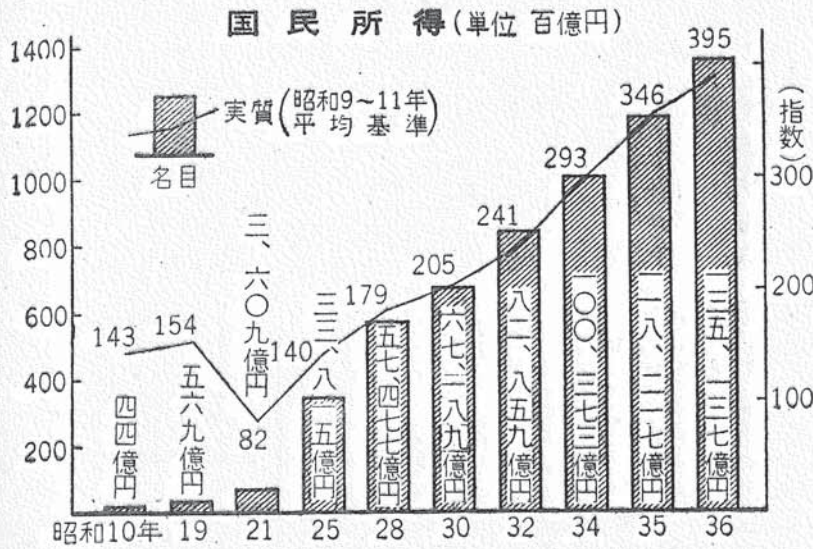
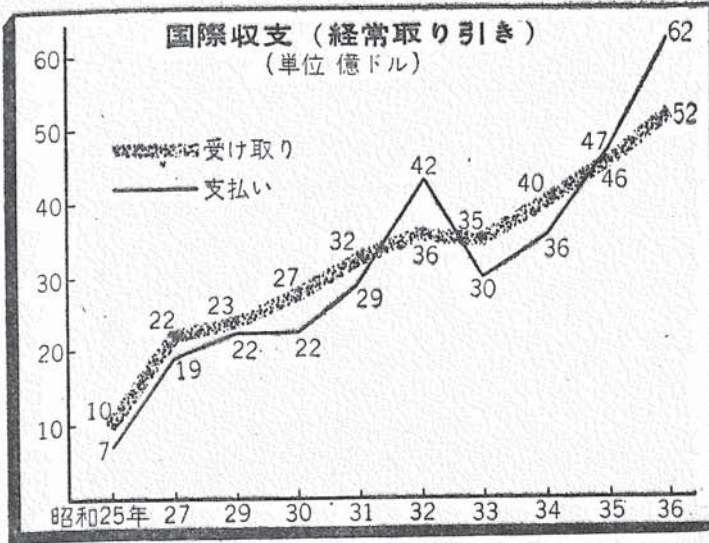
ンクリートでふさがれていて、監視兵の靴音以外には、人影も見えない、白昼死んだように静寂な、無気味な街と化していたという話である。



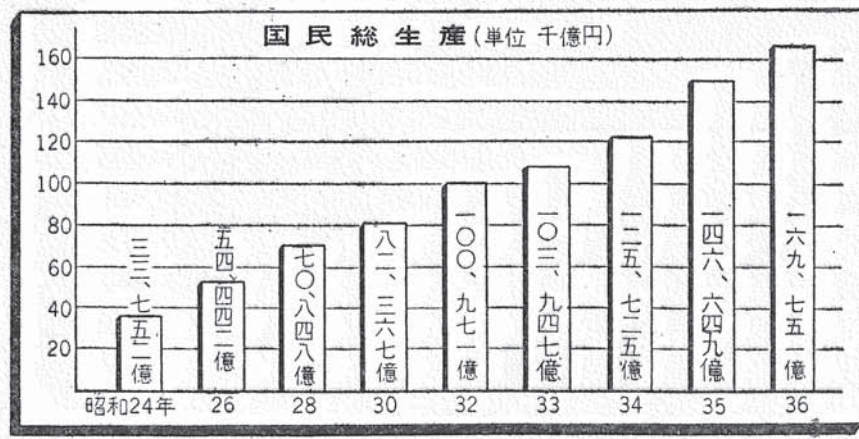
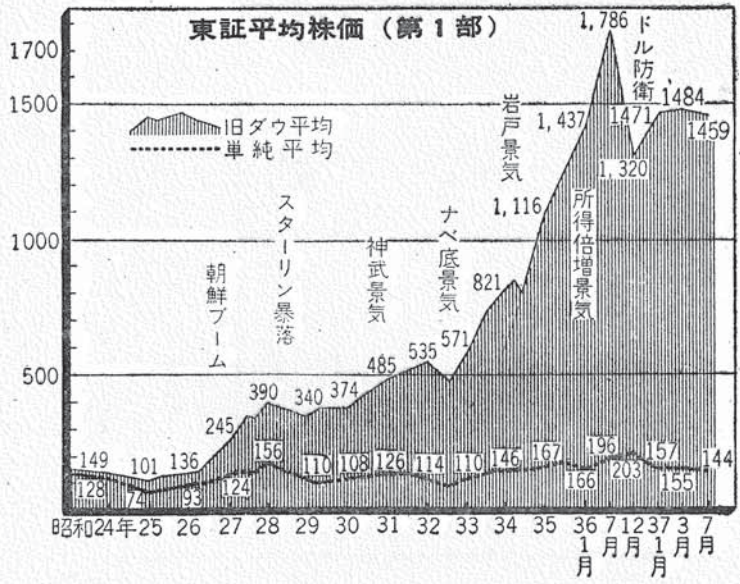
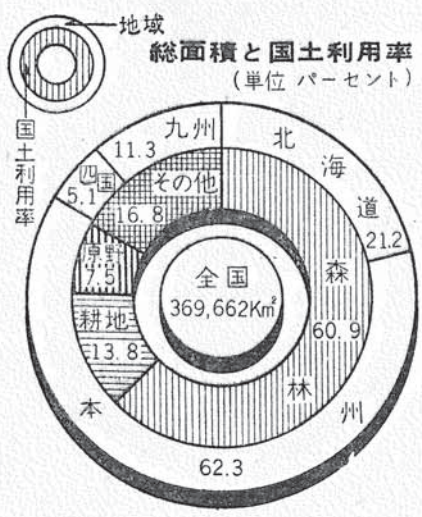
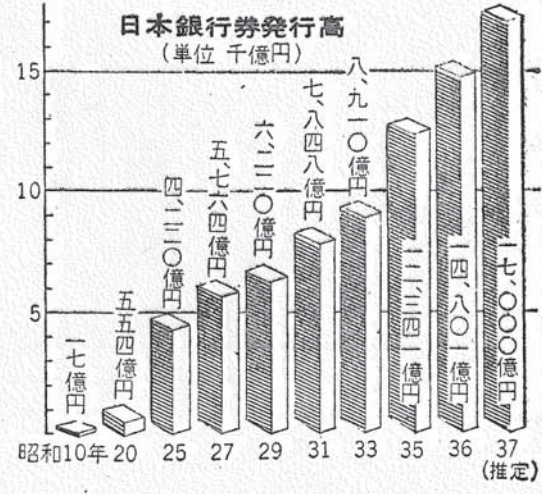
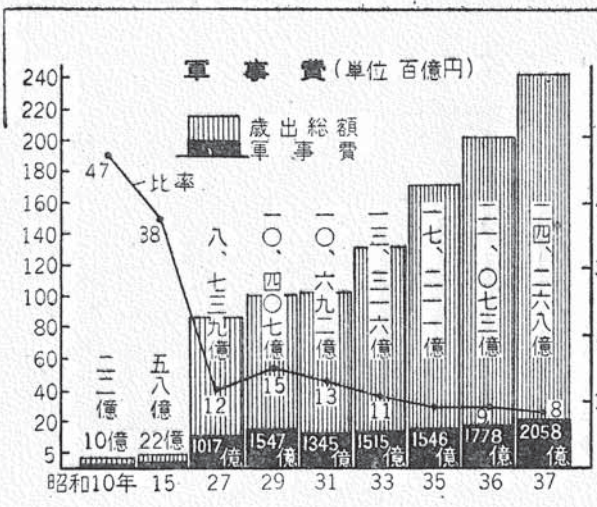
日本経済の概観

重要数字 グラフ

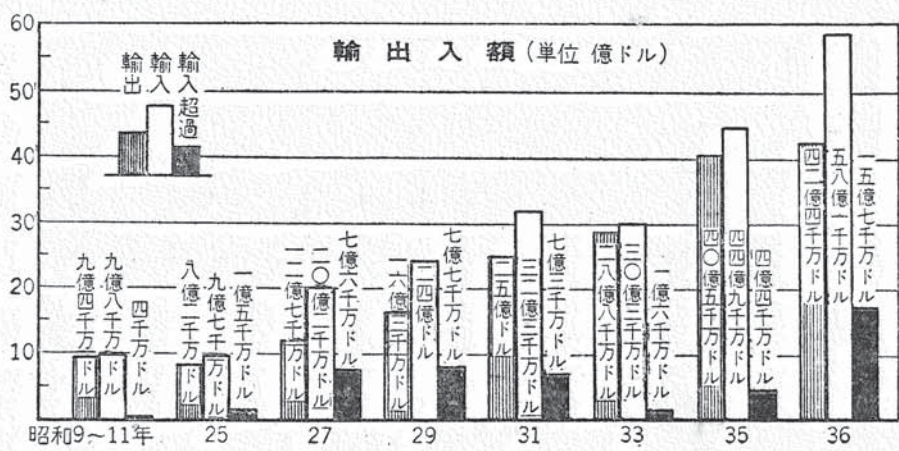
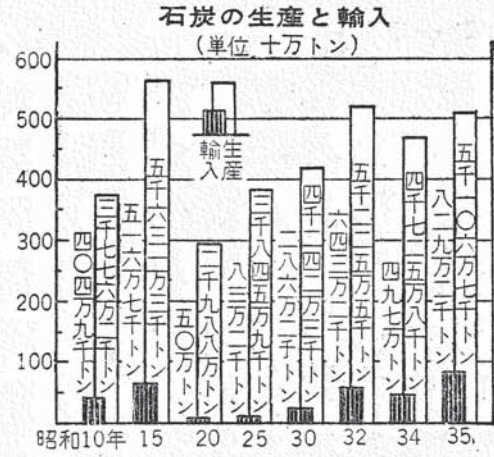
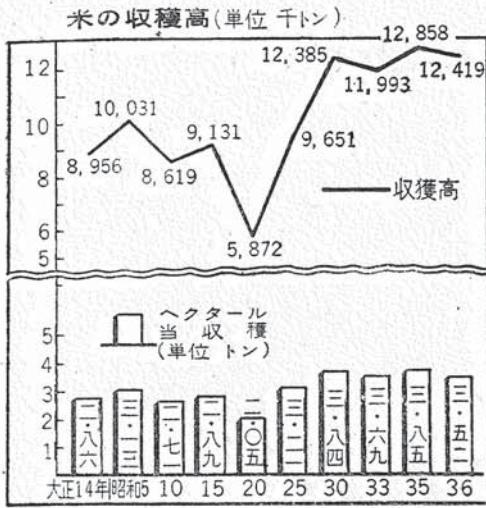
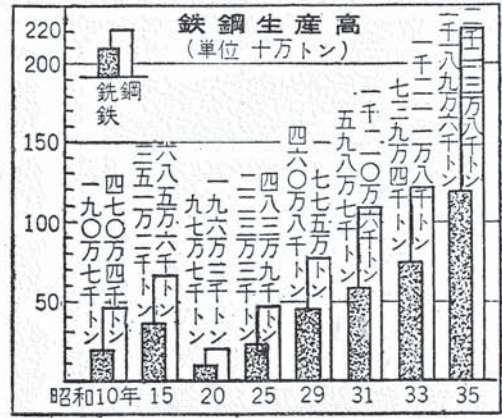
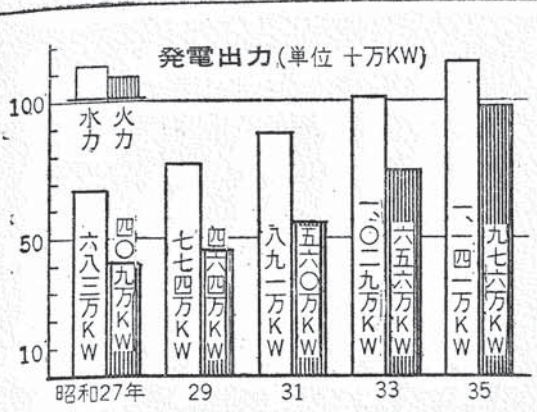
池田雄蔵
〔時事年鑑編集長〕



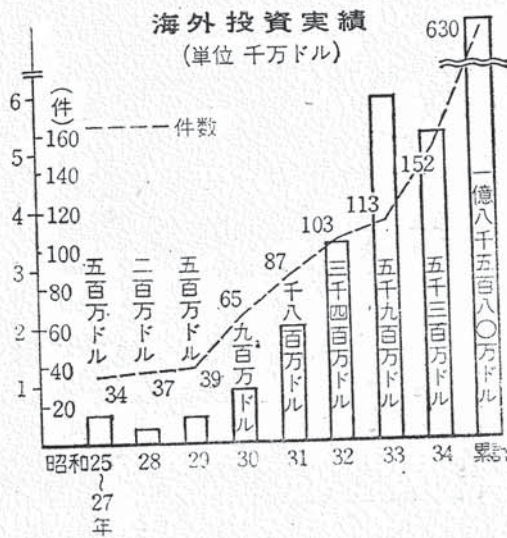
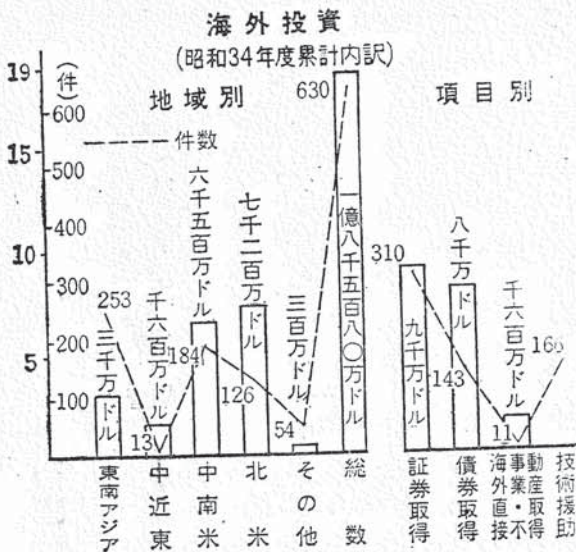
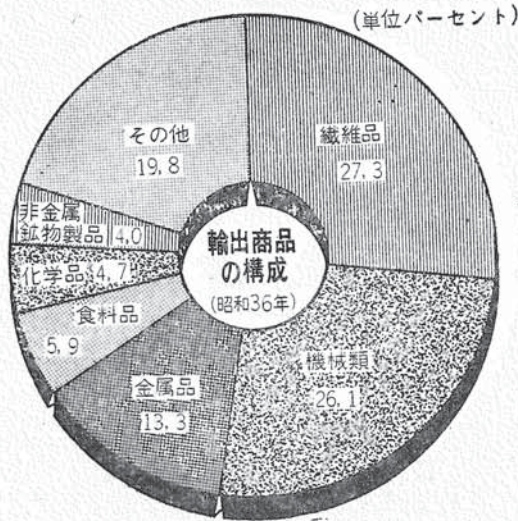
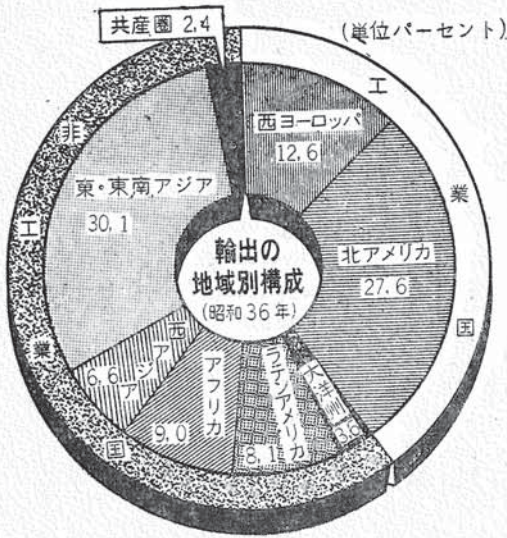
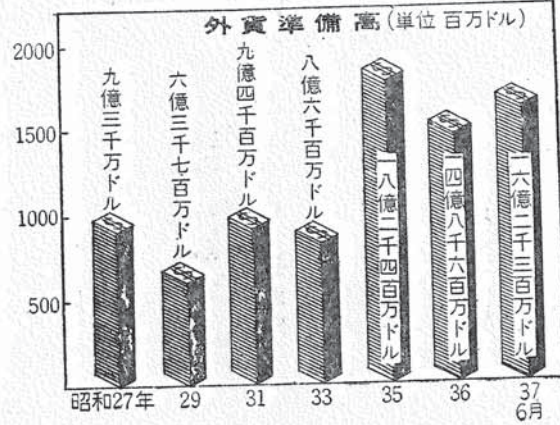
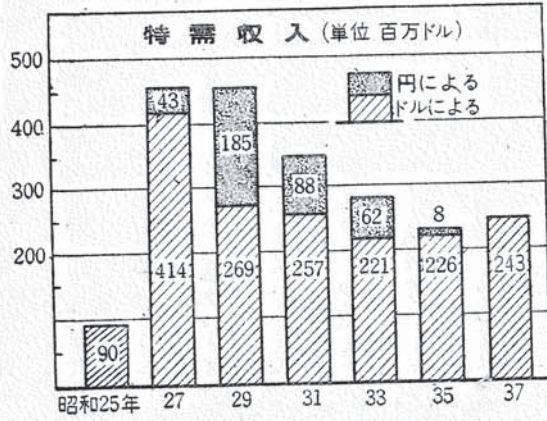
数字は現代生活の水先案内である。生活の様はあるがままに数字に表わされ、その数字がまた生活の方向を運命づける。にもかかわらず、数字はとかく無味乾燥なものとして敬遠されがちだが、この数字も図表に表わすことによつて、親しみをまし、身近なものとする事ができる。この意味で、ここには今日の日本経済の現状と動向をみるうえに欠くことのできない基本的な数字をグラフとしてとりあげてみた。こうしてグラフをながめてみると、また事新しく注目をひくばかりでなく、現象理解の土台となるものである。元来グラフだけでは本質そのものをつかみかたいが、これによつて基本的数字に關心を深めるよすがとなれば、幸いである。数字は生きている。このグラフもまた、絶えざる動きに従つて書き改められていくことは、いうまでもない。



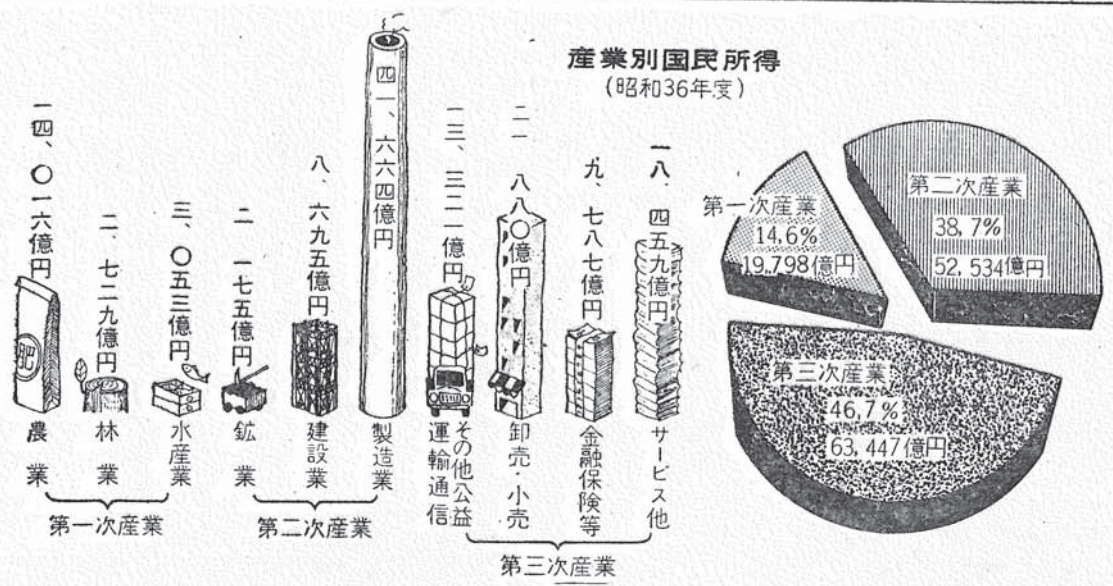
日本の産業



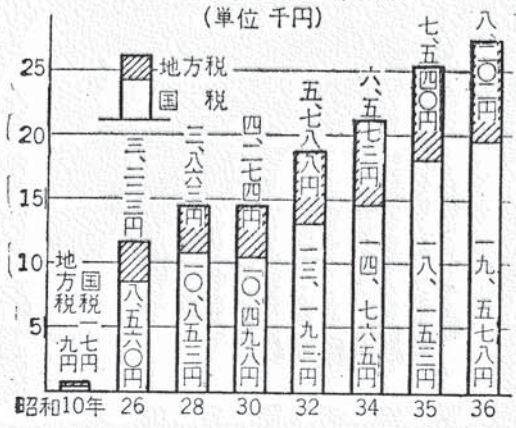
日本の貿易



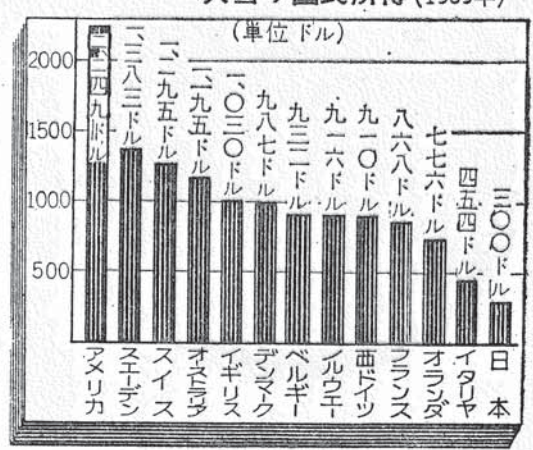
産業別国民所得 (昭和36年度)



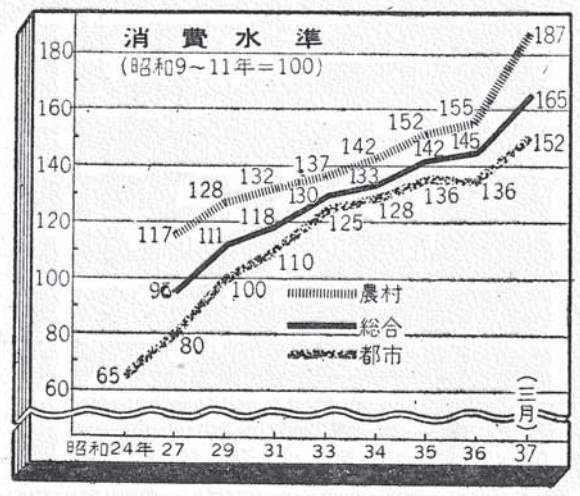
一人当り租税負担額 (単位 千円)



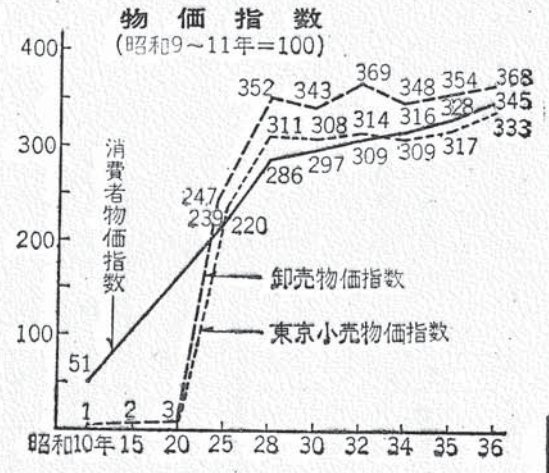
一人当り国民所得 (1959年) (単位 ドル)



消費水準 (昭和9~11年=100)



物価指数 (昭和9~11年=100)



追補 2



昭和37年4月から
最近までの新語……



時事用語

国際政治・国内政治・経済・貿易・株式・労働……

国際政治

ラオス中立協定(中立宣言)

一九六二年七月二十三日、ラオス十四カ国会議の關係各国により調印、即日効力を発した「ラオスの中立に関する宣言と同意書」についての議定書。骨子は

①ラオス王国政府は外交關係の原則として平和共存の五原則をとり、②他国の平和をそこなう武力の使用あるいはおどかしをしない、③いかなる軍事同盟にも加わらない、④ジュネーブ協定(五四年)の尊重とこれに反する条約・協定の破棄の声明で、これらを米、ソ、英、仏、中共、インド、カナダ、タイ、南ベトナム、北ベトナム、ポーランド、ビルマ、カンボジアの十三カ国が認め、各国はSEATOを含むいかなる軍事同盟、基地、施設を設けない、軍隊・軍事要員を入国させない、ことを誓約したもの。ただラオス軍隊

の訓練のため仏軍事教官が一部残る。これによりラオスは「国際協定によって承認され、保障された中立国」となった。

ラオス連合政府

ラオスには独立後一九五七年十一月結ばれたビエンチャン協定で、王国政府と左派、パト・ラオとの連合によるプーマ内閣ができた。しかし翌年反共親米のサナニコ

ン内閣が成立するとともに、左派抑圧政策をとったため内乱となり、六〇年、コン・レ大尉のクーデター以来左派と中立派の連合勢力が優勢となった。六一年五月十九日、ジュネーブで十四カ国会議が開かれ、そのあつせいで、中立、左右三派の統一政府樹立の話し合いが進められた結果、六二年六月二十三日、中立派のプーマ殿下を首相に、左派スファヌボン殿下、右派ノサバン將軍を副首相とする新しい連合政府が樹立された。新政府は完全中立主義を掲げており、

「ラオス中立協定」が關係十四カ国で調印されている。

西イリアン協定

一九六二年八月十五日、インドネシア、オランダ両国が、国連本部で調印した西イリアン統治権の移譲に関する協定。内容は、六二年九月三十日までオランダが西イリアンの統治権を保持したあと、十月一日から六三年四月三十日まで国連が暫定管理にあたり、西イリアンに「暫定行政当局」を設置する。六三年五月一日からはインドネシアの統治に委ねられ、五年後にパプア人の住民投票によって、その最終的帰属を決める、というもの。この協定の下地となったのが、米人外交官バンカーのバンカー案である。この協定により西イリアン問題(別項参照)は大事にいたらず解決した。

アルジェリア共和国

(Républic of Algeria) 北アフリカにある旧フランス植民地アルジェリアに独立運動が起り、「アルジェリア共和国臨時政府」ができたのは一九五四年。その

中心となったのはFLN(Front de la Libération Nationale)民族解放戦線)である。その組織には、軍事機関としてALN(Armée de Libération Nationale)民族解放軍)、最高議決機関としてC.N.R.A.(Conseil National de la Révolution Algérienne)アルジェリア革命国民評議会)、行政機関としてG.P.R.A.(Gouvernement Provisoire de la République Algérienne)アルジェリア共和国臨時政府)が設けられていた。七年間にわたりFLNとフランス現地軍、ユロン(植民者)との間に血なまぐさい流血紛争がつづいたが、仏本国のドゴール政策によって五九年九月十六日「アルジェリア自決宣言」が発せられ、停戦後四年以内に住民の自由意思によって独立か否かを決することになった。この方針に基づき、六一年一月住民投票によってその政策の可否が問われた結果、ドゴール政策が圧倒的多数で支持されたが、現地軍を主体とする右

社会用語

風俗・映画・演劇・スポーツ
・外来語………



風俗

産業スパイ 自動車メーカー

のテスト・カーをめぐっての推理小説、梶山季之の「黒い試走車」が昭和三十七年早々、ベストセラーになってから、急速に取り沙汰されるようになってきた。事実企業体同士の競争激化につれて、秘密社員の送り込み、相手会社社員の買収など、企業スパイ行為はかなり盛んで、「斬り捨てご免の国際企業スパイの王者」と自称する外人まで出現するようになった。

水道方式 「数学教育協議会」

(東京工大・遠山啓教授を中心とする、数学教育者たちがつくっている民間団体)が昭和三十三年夏、小学校の計算体系を研究した結果あみだした、初等算数教育の新しい方式の「愛称」。三十七年春、毎日新聞に「算数に強くなる―水道方式」が連載されて以来、父母の間に爆発的なブームを起こした。計算問題の解き方がちようど都市の水道施設の構造に似ているところから、この名が生まれた。

佐野乾山 (けんざん)

江戸時代の画家、尾形光琳(こうりん)の実弟・尾形乾山(一六六三―一七四三年)が、その晩年、下野佐野の窯(かま)で制作した焼もの。彼の作品は、制作した窯により鳴瀧乾山、入谷乾山、佐野乾山の三通りによばれる。乾山作といわれるものには、昔からニセモノが多かったが、昭和三十七年一月以来、佐野の旧家を中心に二百点を越す「佐野乾山」が発見され、この作品について陶芸家バーナード・リーチらがホンモノの乾山だとのべ、話題となった。

ミルク・ティーン

昭和十七年のジャズ界は、二十年に一度しか出ないといわれる弘田三枝子(15)の出現らしい、これら年代の少女歌手が続出したが、一時期のハイ・ティーン歌手に対し、これらを某週刊誌がミルク・ティーン歌手と名づけた。「まだ西も東もわからないオッパイ臭い子どものくせに、

合成ダイヤモンドは装飾用の宝石として使うわけではなく、現在のところ工業用(研磨、加工、切削)を目的として

放射線化学

放射線の照射を化学構造をかえて、物質の性質を改良したり、化学合成の反応に利用したりする過程を放射線化学とよぶ。原子力平和利用のうちで原子力発電とともに注目される利用の分野で、いままででは合成繊維やプラスチックの性質をかえる研究が盛んに行なわれてきた。ポリエチレンを固くすること、ゴムの加硫工程なしに弾力を増すといった加工法はすでに実用されている。財団法人放射線高分子研究協会が

磁気インク (マグネチック)

インク magnetic ink) 磁気を帯びたインク。これで小切手などの数字や文字を印字し、それを小切手分類読み取り機にかければ、磁気に感じて、小切手整理が自動的にできる。小切手の多い米国では、すでに採用されているが、日本でも大銀行

がこれを採用する方針で準備を進めている。この方式を採用する場合、分類機の読み取りやすい字体を必要とするので、数字でも文字でも磁気インク用の字体が考え出されている。

イソミン睡眠剤

非バルビツール系の睡眠剤。副作用が少なく効果の持続時間が長いという特徴からよく売れていたが、生まれる子どもにも奇形がふえる原因となるのではないかとの疑いをもたれ、西独、日本などでは販売・出荷中止の措置がとられた。一般名はサリドマイド(Saralidamide)で、西独、日本で一九五八年、ほとんど同時に発売され、日本では主にイソミン、西独ではコンテルガンの商品名で売られていたが、六一年秋、西独の小児科医ビドキント・レンツ博士が妊娠初期にこれを服用した女性から生まれる子どもに、奇形が多くなっていると思われれるとの見解をのべ、それがセンセーションをまき起こした。製造元のグリユネンタール社は販売停止の措置をとって、研究をはじめたが、その情報が日本にも伝わったため、製薬会社の自発措置として出荷を停止し、実験をはじめた。

ただ歌だけをギヤギヤがなりたてる歌手」という意味。

ニューサンス (nuisance)

音、震動、煙、におい、熱などで他人の財産上の利益や健康、安楽な生活などを侵害する行為をさす法律用語。英米法では一種の不法行為とされている。わが国では昭和三十七年五月、印刷機械の騒音で夜も眠れず、神経、体に変調をきたしたという凶案家夫婦の訴えに対し、東京高等裁判所村松裁判長が印刷会社「二十五万円を払え」との判決を下したのが、この法理を認めた最初のもの。

ビル・メンテナンス (building maintenance)

一般企業が合理化のため、ビル管理などの付属部門を専門企業に任せる傾向が強いので、ビル・メンテナンス業 (ビル保全管理) は新しいサービス業として、わが国でも根をおろすようになり、昭和三十七年五月には、東京で、三十四社が協会を発足させるに至った。これら各社の業務内容はビル清掃のほか守衛配置、冷暖房・上下水道など機械部門の保全運転、電気設備の管理、エレベータの運転など、総合的な管理にわたっている。

国立ガンセンター

昭和三十七年五月二十三日、東京築地に開かれたもので、「最高の治療機械設備、最高の診察陣」という宣伝が行き届いたためか、ガンに対する日本人の不安が根深いのか、開所そりそり治療の申し込みが殺到し、話題になった。初代所長は田宮猛雄。

標準小売り店

東京都で昭和三十七年七月二十三日からスタートした標準値段を表示した生鮮食品店。野菜四百二十七、果実八十五、魚四百九、計九百二十一店を東京都が指定し、都が毎日発表する標準小売り値段を基準として売るしくみ。まぢまぢだった生鮮食品の小売り価格を安定させ、消費者の不安を解消させるのがねらい。

気象警官

京都府警が全国にさがけて昭和三十七年六月から、雨期の災害がよく起こる府下十一署に新しく配置した警官。観測の仕方、避難警報の出し方など専門的な気象技術を身につけさせて、各河川の出水時期などを予想、災害を最少限度に食い止めようというもの。

映画・演劇・スポーツ

キネラマ

ソ連映画界で開発されたもの。三つのレンズをもったカメラで撮影したフィルムを、三つの映写機で超大型スクリーン(横二十一メートル、縦八メートル)に映写する。いわば米国方式のシネラマと同じだが、サウンドトラックが九本で(シネラマは七本)音響効果がすぐれている点がミソ。日本では昭和三十七年六月に、浅草松竹座がキネラマ専門館として初公開した。

トライ・アウト形式 小劇場で公演した芝居が好評を博した場合、もう一度ねり直して大劇場で再演するという方法。

ハッスル (hustle) ぐいぐい押すという意味で、気合のこもった野球を、ハッスルする野球"などという。

ロッキング・モーション (rocking motion) ロッキングは揺り動かすの意味で、投手が投球の準備動作として、腕と身体を前後に振る動作をいう。二度、三度このモーションを行なって打者の気をはずすのに効果があるが、米国ではもちろん日本でも一回以上繰り返すことは禁じられている。

ポップ・フライ (pop fly) 小飛球。ポップはポンとはじけるの意味。

外 来 語

- ゴージャス (gorgeous) 豪華な。
- コーポラス corporate house の和製略語。集合住宅。
- シニプール (独 Spur) 跡、痕跡。日本では主に、スキーの跡をいう。
- スカイ・パーキング (sky parking) 高層駐車場。
- スタンド・マン (stand man) 映画で、曲技などをする俳優の代役。
- スタント・マン ともいう。
- チャリティ・ショー (charity show) 慈善興業。
- テレパシー (telepathy) 精神感應術。五感以外の、第六の知覚で相手の思っている事物を感応的に知ること。
- ナイト・スポット (night spot) ナイトクラブの別称。
- BGM (background music) 職場などで背景に流す音楽。
- ヒューマン・リレーションズ (human relations) 人間関係。
- ブックレット (booklet) 小冊子。パンフレット。
- フライ・アメリカン (Fly American) 「アメリカの飛行機を使え」のスローガン。
- ペーパー・バック版 (paper back) 紙表紙の本。ポケット・サイスの廉価版。日本の文庫本や新書版はその典型的なものである。
- ミリオン・セラー (million seller) 百万枚以上売れたレコード。